



風に吹かれて

― 保父修業物語 ― その五

第二ほとポツポ保育園

船戸 敬悦

保育園の屋上では子ども達がキャツキャツという歓声をあげてプールあそびを楽しんでいた。大阪の夏は暑い。うだるような暑さとはこのことだと実感していた。今年こそは保母試験がんばろうと意気込むたびに、もつと熱くなる自分を感じていた。プールで子ども達ともぐりっこをしたり、ロケットジャンプをしてあそび、「センサーボクモヤッター」「ワタシモー」「ようしいくでー、そーれー」と水に投げこんでやると、笑顔で「モイッカイ！」とはねかえってくる子ども達がいとおしい。一日に二回もプールあそびをするともう身体はくたくた。しかし「今年こそ・・・」と疲れた身体を奮い立たせ、夜はY子さんの主催するピアノのレッスナールームに通いながら特別

レッスンを受けていた。Y子さんは私にとつては大切な師であつた。ピアノと歌のレッスンの他に、「後々の為になるから・・・」といつて作曲法も学んでいた。創作の第一歩であつた。この頃の私は以前の私ではなくなつていった。合唱団ではバスのパートリーダーを努めながらロシア民謡、黒人霊歌、高田三郎や日本の叙情歌曲もこなしていける実力がついていく自分が嬉しかつた。私にとつて音楽は試験のためというよりも、自分のためのものになり、なによりも歌うことが楽しくて仕方がなかつた。

そして一カ月後・・・私は五人の実技試験官の前に立つていた。一番最初はピアノの初見演奏だつた。

「どうぞ！」と楽譜を手渡されてピアノの前に座つた。自分でも信じられないくらい冷静だつた。十六小節の楽譜を見ながら自然に指が動いていった。そして課題曲を弾いた後、いよいよ一年前の試験で悩ませられた歌の初見だつた。私は目をつむつた。今まで励

ましてくれた保育園の同僚や合唱団の仲間。そしてY子さんの顔が浮かんでいった・・・。

あつという間に歌い終わつていった。「ありがとうございました。」と言つて部屋を出た。終わった！全て出しつくした満足感があつた。そして、その日も合唱団の定期演奏会のレッスンのためにレッスナールームに向かつていた。ひとつの試験をバネにして仲間と共に創り上げる喜びを感じながら・・・。

(次回に続く)



# 保育実践を通して考えること

浜分保育園 別宮 国茂

学生時代、共同保育所でおしめ替えに奮闘してから今日まで思い出に浸る事なくがむしゃらに進んできた私にはこの課題を与えられても、なかなか考えがまとまらず、断片的な場面が頭に浮かんでくるだけです。

「やんちゃなA男がかわいがっているオタマジャクシを全盲のM子に教えようとして、なかなかできずに最後に“こわくないよこわくないよ”と言いながら彼女の手のひらにオタマジャクシをそつとのせ、M子が初めてニヤツと笑った場面」「静かにゆっくりと子ども達が私が遠くに行ってしまう事を話していた時、とても手をかけたS子の目に涙が浮かんできた場面」「午睡の時ダウン症のK男が布団の中で裸になるのを気にしつつ常に一緒に寝る妹K子の姿」「七時半過ぎても親は来ず、

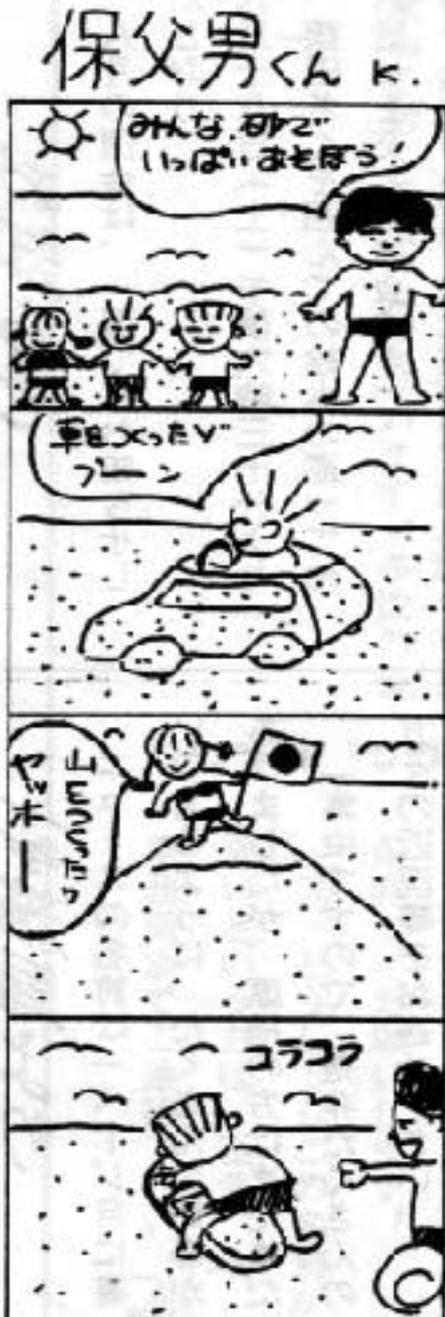
全身で保育者と一緒に耐えるT子、息をきらせてごめんなさいとかけこんだ母親にT子、言葉なく私の手から離れ抱きついた場面」「子ども達と一緒に作った歌が散歩の帰り、大人しいA子の小さな歌から大合唱になってハンメリンの笛吹き気分になった場面」「二年間も笑顔が出なかったE子が今満身の笑顔を毎日見せてくれる事」等々なんでもない事の様ですが私にたつては、時間が経つにつれて増々重く私の財産となっていくます。子ども達から親から他の保育者から、いろいろな事を学びました。そして親も保育者も子どもの中から少しずつ理解して来ました。

子どもと心を通わせながらひとつの生活をつくりあげていく過程はすばらしく、そこには感動や教訓が満ちています。その為にも常に心を開く勇氣と全身で接する努力をしていかなばと考えています。

執念という姿勢には程遠い私ですが、多田先生の書かれた言葉「子どもの幸せを見抜く情熱を自分の年齢に関係なく、常に燃やし続ける事の出来るもののみが歩むべきと信じます。」の言葉をおかりして、私が更にこれから保育に取り組む決意として筆をおきます。

(この原稿は上磯町保育連合会

二十周年記念に掲載したものです)



## 全国交流会のお知らせ

集まろう語り合おう

保育の未来を 生きがいを

のテーマのもとに、二年に一度行っている、全国男性保育者連絡会主催の第六回男性保育者全国交流会「感じよう心と身体」が次の要領で行われます。

時 一九九〇年十一月二十四日(土)

二十五日(日)

所 愛知県勤労会館+ひまわり保育園

内容 パネルディスカッション

『男性保育者の現状と未来』

記念講演

全国文化大交流会

参加費 五〇〇〇円

(一泊二食・資料会場費共)

申込・お問い合わせは

名古屋市千種区仁座町二二〇

どんぐり保育園 岡崎さんまで

電話(052)782-1210 FAX(052)782-1010

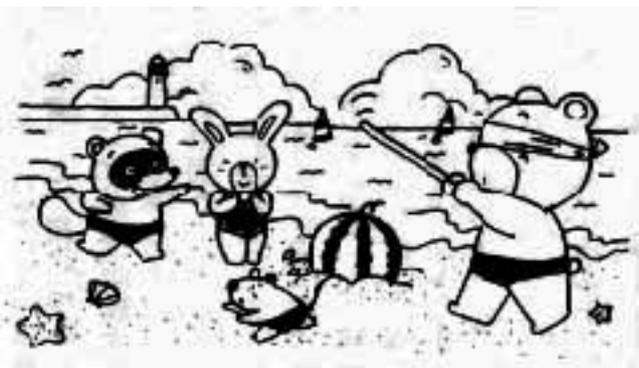
尚、北海道の部分は一緒に行こうと考えています。行ける方は事務局まで。

## お知らせ

八月の例会は、一面でもお知らせしたとおり、

八月十八日(土)午後六時三十分より藤田さんを囲んでの絵本を巡ってのお話しを交えた例会です。

場所はいつもの道庁別館二F(中央区北三条西七丁目)北海道社会福祉協議会第一会議室or第二会議室です。お友達も誘って来て下さいね。



## 事務局より

ニュースの名前はページ目に書いてあるように、たくさんの応募がありました。原稿の方はまだまだ大募集中ですので、是非たくさんの方々の近況等をお寄せ下さい。

以前、別の冊子に掲載された文章でも結構ですので事務局まで、送付願います。

会計よりのお願い

平成元年度分の会費(三千元)は、ほぼ集まりましたが、平成二年度の会費は未納の方がまだたくさんいますので、早めに「北洋銀行 北海道の子どもと保父の会 会計 瀬尾昌彦」まで振り込んで下さい。お願いします。

事務局

〇〇三 札幌市白石区北郷二条三丁目

北白石保育園内